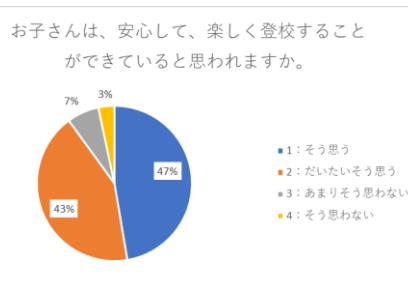
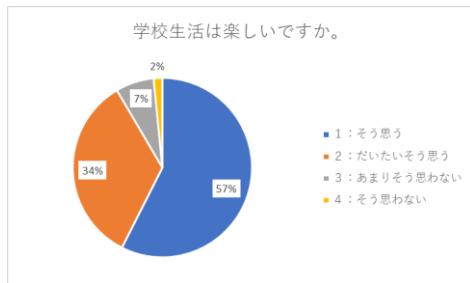


# 令和5年度 後期学校評価アンケートのまとめ（生徒・保護者）

回答 a そう思う b だいたいそう思う c あまりそう思わない d そう思わない ( ) 内は今年度前期の結果

1 学校生活は楽しいですか。 子どもは安心して楽しく登校している

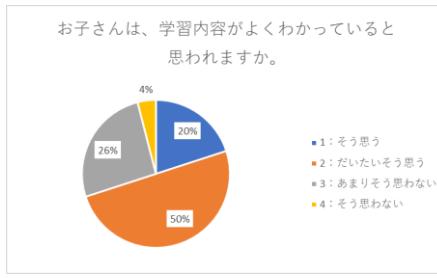
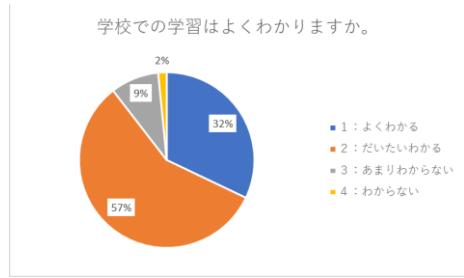


子どもたちの学校生活について、生徒の回答は前回に同じですが、保護者の「そう思う」の回答が増加しました。一方、生徒・保護者ともに、否定的な回答がある現状は変わっていません。

(生徒) a 57% (59%)  
b 34% (34%) c 7% (5%) d 1% (2%)

(保護者) a 47% (39%)  
b 43% (52%) c 7% (7%) d 3% (2%)

2 学校での学習はよくわかりますか。

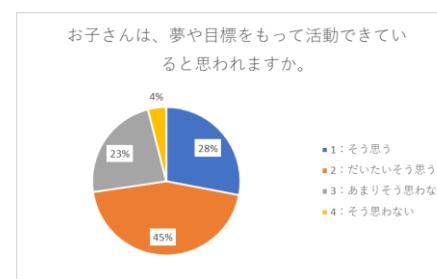
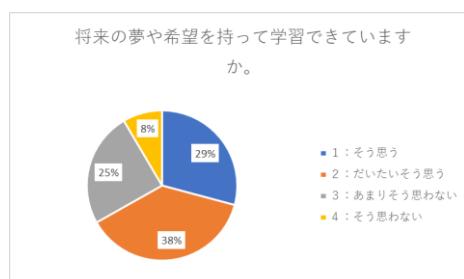


学習の理解度について、生徒の回答は、あまり変化が見られません。一方、保護者の「そう思う」が若干増加し、不安を持っておられる割合が、若干減少しています。

(生徒) a 32% (34%)  
b 57% (55%) c 9% (9%) d 2% (2%)

(保護者) a 20% (13%)  
b 50% (52%) c 26% (28%) d 4% (7%)

3 将来の夢や目標をもって学習していますか。

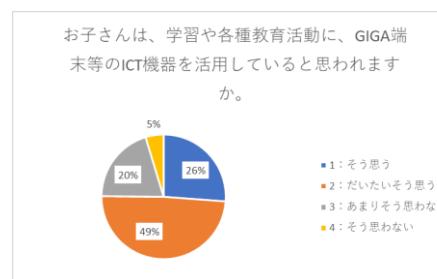
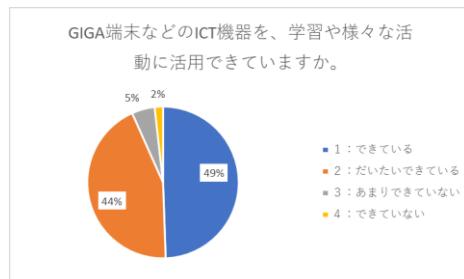


「将来の夢や目標をもって学習している」について、保護者の肯定的な回答が、増加しました。3年生が、将来の夢と関連づけながら、具体的に進路を考える機会が増えたこと、1、2年生が、その3年生を間近に見ながら、自分の進路について意識的に考えたことが、影響していると思われます。

(生徒) a 29% (33%) b 38% (38%)  
c 25% (21%) d 8% (8%)

(保護者) a 28% (16%)  
b 45% (50%) c 23% (28%) d 4% (6%)

4 GIGA 端末等の ICT 機器を学習等に活用していますか。



「授業における ICT 活用」が、気軽に行えるようになりました。今、「どんな目標の下、どのように活用するか」学習目標との関連を、明確にする必要性を痛感しています。

家庭での端末活用は、生徒自身の自己管理力が必要であり、持ち帰りの約束事を周知し、より効果的な活用を促していきたいと考えます。ご協力よろしくお願いいたします。

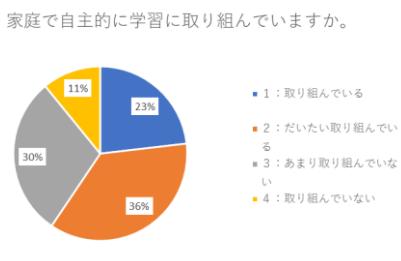
(生徒) a 49% (48%)

(保護者) a 26% (20%)

b 44% (46%) c 5% (5%) d 2% (1%)

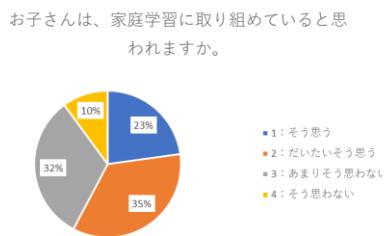
b 49% (51%) c 20% (24%) d 5% (7%)

## 5 家庭で自主的に学習していますか。



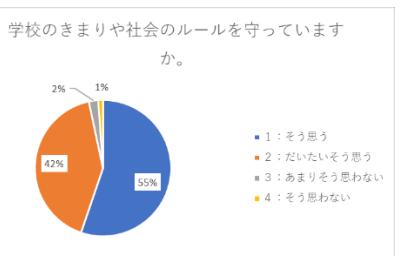
(生徒) a 23%(15%) b 36%(42%)  
c 30%(32%) d 11% (10%)

## 子どもは家庭学習に取り組めている



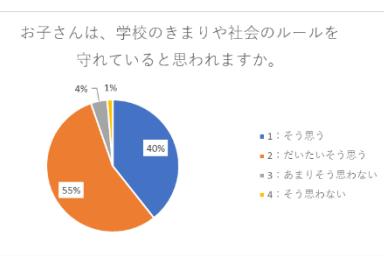
(保護者) a 23%(15%)  
b 35%(42%) c 32%(32%) d 10% (10%)

## 6 学校のきまりやルールを守って生活していますか。



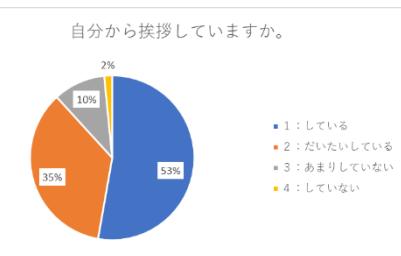
(生徒) a 55%(41%)  
b 42%(52%) c 2%(6%) d 1% (1%)

## 子どもは学校のきまりやルールを守って生活している

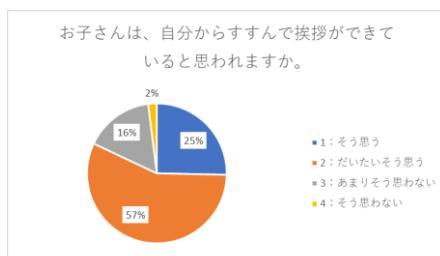


(保護者) a 40%(41%)  
b 55%(52%) c 4%(6%) d 1% (1%)

## 7 自分から挨拶をしていますか。



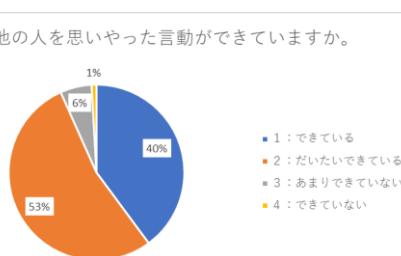
(生徒) a 53%(53%) b 35% (37%)  
c 10% (9%) d 2% (2%)



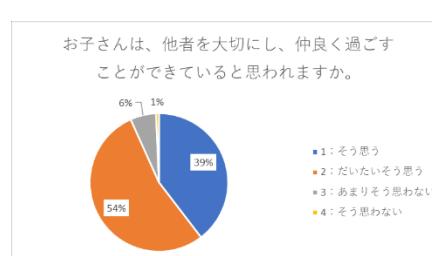
(保護者) a 25%(28%)  
b 57%(54%) c 16%(17%) d 2% (1%)

## 8 他の人の思いやった言動ができていますか。

## 子どもは他者を大切にし、仲良く過ごすことができている



(生徒) a 40%(39%)  
b 53%(54%) c 6%(6%) d 1% (2%)



(保護者) a 39%(37%)  
b 54%(56%) c 6%(6%) d 1% (1%)

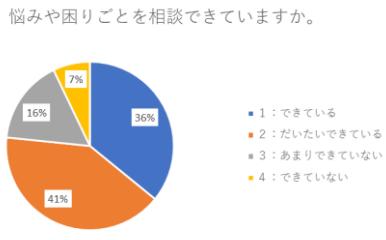
家庭学習について、肯定的な回答をした生徒 6 割のうち、「そう思う」が前回より増加したことは喜ばしい結果です。しかし、およそ4割の生徒・保護者が、依然、家庭学習について否定的な回答をしています。「わかるとわからない」「得意と苦手」を自覚し、自らをアップデートしていく力は、今、最も必要とされる力の一つです。学習内容だけでなく、「学び方」を習得できるよう、授業スタイルを見直す必要があります。学習計画を立て、振り返りを行う活動には、引き続き TOWA ノートの活用を促していきます。

大半の生徒が「決まりやマナーを守っている」と回答しています。学習やその他の活動に、落ち着いて取り組める環境を、これからも大切にていきます。

「進んで挨拶をしている」について、生徒と保護者の意識のズレを感じます。人と場所を選ばず、進んで挨拶ができること、その挨拶からコミュニケーションを深められる挨拶が目標です。

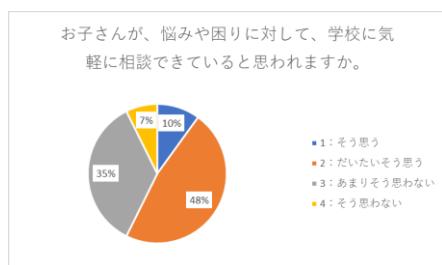
概ね肯定的な回答ですが、半分以上の生徒が「だいたいそう思う」と回答しています。思いやりは、行動によって伝わります。「そう思う」と自信を持って回答できる言動について、共に考えたいと思います。

## 9 悩みや困りごとを相談できていますか。



(生徒) a 36% (37%) b 41% (39%)  
c 16% (16%) d 7% (8%)

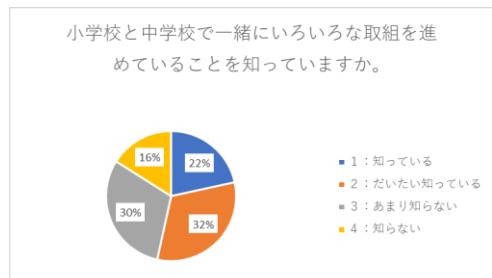
## 子どもは悩みや困りごとを学校に気軽に相談できている



(保護者) a 10% (7%)  
b 48% (48%) c 35% (37%) d 7% (8%)

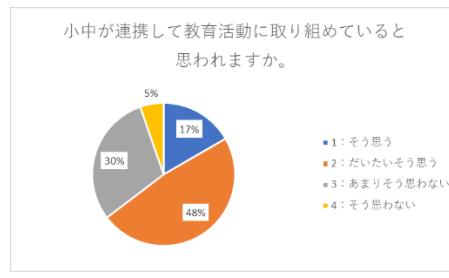
「悩みや困りごとを相談できるか」について、前期同様、生徒の2割以上、保護者の約4割が否定的な回答でした。担任・顧問でなくとも、話しやすい教職員に一声かけてくださって大丈夫です。気兼ねなく、ご相談ください。

## 10 小学校と中学校で一緒に色々な取組を進めていることを知っていますか。



(生徒) a 22% (14%) b 32% (23%)  
c 30% (34%) d 16% (29%)

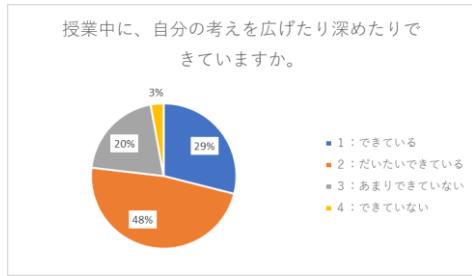
## 小中が連携して教育活動に取り組めている



(保護者) a 17% (10%)  
b 48% (56%) c 30% (27%) d 5% (7%)

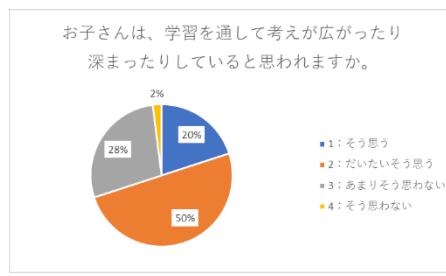
小中連携について、生徒の認知度が上昇し、5割を超えるようになりました。現在、小中連携を進めているところです。音羽ブロックだより等により、その実践を、引き続き保護者や地域に向けて伝えていきたいと思います。

## 11 授業中に自分の考えを広げたり深めたりできていますか。



(生徒) a 29% (31%) b 48% (47%)  
c 20% (18%) d 3% (4%)

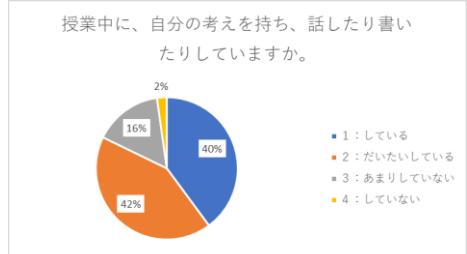
## 子どもは学習を通して考えが広がったり深まったりしている



(保護者) a 20% (14%)  
b 50% (54%) c 28% (30%) d 2% (3%)

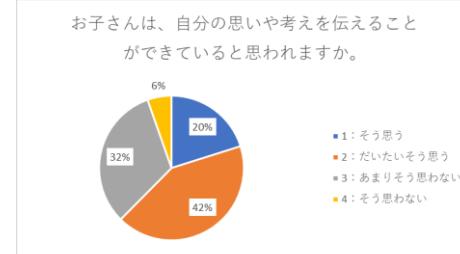
教科学習・道徳・総合的な学習等に、ロイロノートを使って思いや考え方交換する機会が増えています。GIGA端末は、生徒たちの、表現への抵抗感を払拭してくれるツールとして活躍しています。今後も、これを活用するとともに、インプットとアウトプットの方法を複数持ち、自分たち発信で考えを広げていけるよう、授業目標や展開の見直しを図ります。

## 12 自分の考えを持ち、話したり書いたりしていますか。



(生徒) a 40% (41%) b 42% (43%)  
c 16% (14%) d 2% (2%)

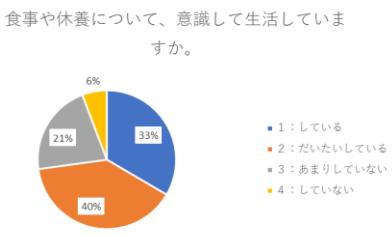
## 子どもは自分の考えや思いを伝えることができます



(保護者) a 20% (13%)  
b 42% (50%) c 32% (31%) d 6% (6%)

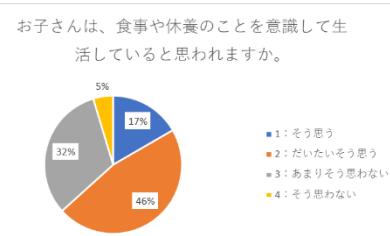
GIGA端末の活用等により、さまざまなアウトプットの機会が増え、「表現」が学習の一部になりました。様々な学習が相乗効果を生むよう、インプットとアウトプットの両方を意識しながら、学びを続けたいと思います。

### 13 食事や休養に気をつけて生活していますか。



(生徒) a 33% (36%) b 40% (39%)  
c 21% (19%) d 6% (6%)

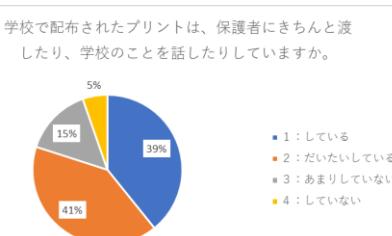
### 子どもは食事や休養に気をつけて生活している



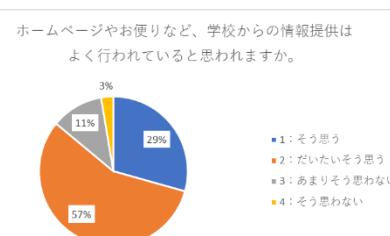
(保護者) a 17% (16%)  
b 46% (47%) c 32% (31%) d 5% (6%)

アンケート結果から、食事や休養に関する生徒と保護者の意識のズレを感じました。学校では、食育掲示板・食育だより・食育放送等に加え、箸使い選手権などの行事を通して、食育に力を入れているところです。しかし、その知識を、「睡眠」「朝夕の食事」等、家庭での生活場面にいかしきれていないかも知れません。多くの生徒が食事や休養の大切さを理解しています。それが実践につながるよう、ご家庭と学校との協働が必要だと思います。

### 14 学校で配布されたプリントをきちんと渡し、学校のことを話していますか。



(生徒) a 39% (43%) b 41% (37%)  
c 15% (15%) d 5% (5%)



(保護者) a 29% (25%)  
b 57% (59%) c 11% (15%) d 3% (2%)

学校からの情報提供について、概ね肯定的な回答であり、十分満足しておられる保護者の割合が、前回より少し増加しました。配布プリント・スクリレ配信・学校ホームページ等を活用し、さらに必要な情報が発信できるよう、取り組みます。

令和5年度後期学校評価保護者アンケートについて、多くの回答をいただき、心より感謝申し上げます。

令和5年度スタートにあたって「不易と流行」を念頭に、学校教育目標を「自ら学び、考え、行動する力を育成するために『社会人基礎力』の獲得を目指す」と変更し、およそ9ヶ月の学校教育を経た2学期終わりに、今回の後期アンケートを実施しました

授業においては、GIGA 端末を使った学習を、様々な教科の、様々な単元において活用するようになりました。気軽に思いや考えを表現できるツールとして、端末はプラス効果をもたらしたと思います。一方、自主的な家庭学習については、前回同様、習慣化していない生徒が多い実態が伺えます。そのような中、自身の学習状況を振り返ることを目的とする「振り返りテスト」の実施や、タブレットドリル等を活用した学習を継続しています。

健康面では、毎月19日の「食育の日」の取組を継続し、「食育だより」「食育掲示板」等に関心を持つ生徒が増えています。今年度導入の「スクールトレーナ

ー制度」では、丸太町病院の理学療法士による基礎体力向上プログラムを、各学年の体育授業に、アップトレーニングとして導入しています。3月8日には、全学年対象に「姿勢の重要性」に関する講演会を予定しています。

大勢が集まって行う活動が、活発に行えるようになりました。3月の「3年生を送る会」では、数年ぶりに学年合唱を披露する予定です。小中連携については、着々と連携が進んでいるところですが、保護者の認知度は低いようです。様々な取組を、学校ホームページや音羽ブロックだより、学校だより等で、継続してお知らせしていきたいと思います。

今年度、残すところ1か月足らずとなりました。1、2年生は、新生徒会の中心として活躍し、3年生は卒業後の進路実現に向けて、入試等に挑んでいます。限られた時間を大切に、進級する4月からの生活を見据えて取り組んできた年度末のしめくくりとして、子どもたちと共に全力で歩んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。